

農道橋個別施設計画

個別施設整理番号	1	林道台帳索引番号	-	施設管理者	韮崎市
路線名	大草14号線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	割羽沢川4号橋
施設の所在地	大草町大字下条中割字前田	起点からの距離	-	建設年度	S61年(推定)
供用年数	S63年	種別	鋼橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	H8年	橋格(設計荷重)	2等(TL-14)(推定)	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	16.9 m (16.6) m		幅員(車道幅員)	3.2 m (2.0) m
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	有
		支承形式	鋼製支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	周辺は市街地的な土地利用状況である。交通量は僅少である。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和2年10月21日				
	調査結果	張り出し床版に収縮ひび割れが見られるが、損傷は軽微であり、状況に応じて補修を行うことが望ましい				
	健全性の診断結果	I (健全)	張り出し床版に収縮ひび割れが見られるが、損傷は軽微であり、状況に応じて補修を行うことが望ましい			
	劣化原因	施工時の温度収縮や乾燥収縮によりひび割れが生じていると考えられる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	5年毎に定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和7年及び令和12年に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 緊急性を伴わない定期点検のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用(参考)					
管理方法	5年に1回の定期点検を実施し、損傷箇所の経過観察を行う。次回点検において早期に補修が必要と判断された場合には適切に補修対策を行う。また、路面の土砂除去、清掃等を適切に行う。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用(百万円)					0.4					0.4
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備 考

農道橋個別施設計画

個別施設整理番号	2	林道台帳索引番号	-	施設管理者	葦崎市
路線名	大草2号線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	丸林上橋
施設の所在地	大草町大字下条中割字新田	起点からの距離	-	建設年度	H25年(推定)
供用年数	H27年	種別	PC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	H14年	橋格(設計荷重)	A活荷重	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	19.2 m (18.9) m		幅員(車道幅員)	6.2 m (5.0) m
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	周辺は市街地的な土地利用状況である。交通量は僅少である。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和2年10月21日				
	調査結果	下部工、上部工、支承部において、特に損傷がなく概ね健全である。				
	健全性の診断結果	I (健全)	下部工、上部工、支承部において、特に損傷がなく概ね健全である。			
	劣化原因	特に無し。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和12年度				
	内容	5年毎に定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和7年及び令和12年に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 緊急性を伴わない定期点検のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用(参考)					
管理方法	5年に1回の定期点検を実施し、損傷箇所の経過観察を行う。次回点検において早期に補修が必要と判断された場合には適切に補修対策を行う。また、路面の土砂除去、清掃等を適切に行う。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用(百万円)					0.4					0.4
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備 考